

2026年5月25日
キャピタル損害保険株式会社

「がん治療と仕事の両立支援保険」にがん予防・がん検診を学べる動画視聴サービスを付帯
～予防・早期発見から治療支援までをトータルでサポート～

キャピタル損害保険株式会社（取締役社長：川上潤哉、以下「当社」）は、企業向け福利厚生保険商品「がん治療と仕事の両立支援保険」（正式名称：がんのみ補償特約付就業継続支援保険）において、がん予防およびがん検診の重要性を啓発する動画視聴サービスを新たに付帯し、2026年5月25日より提供を開始いたします。

本サービスの提供により、当社は、がん「罹患した後」の経済的・就労面での支援に加え、「罹患する前」の予防および早期発見の重要性を伝えることで、従業員の皆さまの健康増進と企業の持続的な人材活用を総合的に支援してまいります。

1. 背景

医療技術の進歩により、がん治療は入院中心の治療から通院治療へと大きく変化しており、治療を受けながら働き続ける人は年々増加しています。一方で、がんは依然として多くの方にとって身近な疾病であり、治療と仕事の両立には、経済面のみならず、精神的・身体的な負担も伴います。

こうした状況の中、企業においては、がん「罹患した従業員」への支援だけでなく、がん「予防や早期発見」に向けた啓発が、従業員の健康意識向上や就業継続の観点から、ますます重要となっています。

2. 新たに付帯する動画視聴サービスの概要

今回新たに付帯する動画視聴サービスは、ご契約いただいている企業の従業員の皆さまを対象に、スマートフォンやパソコンから気軽に視聴できる教育コンテンツとして提供します。

本サービスを通じて、従業員一人ひとりが正しい知識を身につけ、日常生活の中で実践できる行動変容につなげることを目指します。

<主な特長>

- 1話あたり約5～10分の短時間動画で、スキマ時間に視聴可能
- 全6話構成で、がん予防からがん検診までを体系的に学習
- 二次元バーコードを読み取るだけで簡単にアクセス可能
- ご契約者さま向けサービスとして追加費用なしで提供

<プログラム内容>

- がんは身近な病気？
- 禁煙と節酒
- 食生活の見直し
- 運動と適正体重の維持
- 感染症による発がんのリスク
- がん検診は早期発見のカギ

3. 「がん治療と仕事の両立支援保険」について

「がん治療と仕事の両立支援保険」は、がん治療に伴う入院で働けない期間に加え、治療中や復職までの間に生じる就業制限期間（時短勤務、残業制限等）における収入減少を補償する保険商品です。

企業が契約者となり、従業員全員を被保険者として一括加入する福利厚生型保険として、所定の条件のもとでがん罹患者を対象に含められること等が好評を博し、多くの企業に導入されています。

今回の動画視聴サービスの付帯により、「治療と仕事の両立支援」＋「がん予防・早期発見の啓発」という、より包括的なサポートを提供することが可能となります。

【導入企業の声（User's Voice）】 ※当社ホームページに掲載

事例①化粧品製造・小売業 https://www.capital-sonpo.co.jp/houjing/jirei_1.html

事例②鉄道車両製造業 https://www.capital-sonpo.co.jp/houjing/jirei_2.html

事例③不動産業 https://www.capital-sonpo.co.jp/houjing/jirei_3.html

事例④百貨店業 https://www.capital-sonpo.co.jp/houjing/jirei_4.html

事例⑤建設業 https://www.capital-sonpo.co.jp/houjing/jirei_5.html

4. 今後の展望

当社は今後も、企業と従業員の双方に寄り添い、がんと向き合うあらゆるステージにおいて安心を提供する保険・サービスの拡充に努めてまいります。

本保険商品と付帯サービスを通じて、誰もが安心して働き続けられる社会の実現に貢献してまいります。

以上